



夏の爽酒探訪

純米酒頒布会

暑い夏を爽やかに!!

2020年 夏の頒布会

頒布期間：6月～8月
720ml コース / 1,8Lコース



日本名門酒会

720ml コース

各月2銘柄

第一回

6月



菊秀 (瓶貯蔵) 特別純米原酒



如空 (瓶貯蔵) 特別純米酒

第二回

7月



木曽路 (瓶貯蔵) 純米原酒



若戎 (瓶貯蔵) 純米酒

第三回

8月



多満 (瓶貯蔵) 純米吟醸酒



玉光 (生貯蔵) 純米吟醸酒

1,8L コース

各月1銘柄

第一回
6月

特別純米原酒 (瓶貯蔵)
菊秀 (瓶貯蔵) 特別純米原酒
きくひで
長野県佐久市白田

《お酒の特長》
アルコール分を13度台に抑えた純米原酒にチャレンジしました。酵母に負荷がかからないため、雑味が少なく、オフフレーバーも出にくいうえ、加水による味わいのバランス崩れも起きないといわれます。軽快で、すっきりとした味わいのお酒です。

原料米：美山錦(長野県産) / 仕込水：八ヶ岳山系千曲川伏流水
精米歩合：59% / 酵母：きょうかい1401号
アルコール分：14度 / 日本酒度：-1.0 / 酸度：1.1
アミノ酸度：1.0 / 杜氏：井上嘉正(佐久杜氏)

第二回
7月

純米原酒 (瓶貯蔵)
木曽路 (瓶貯蔵) 純米原酒
きそじ
長野県木曽郡木祖村藪原

《お酒の特長》
醪のアルコール分を14度台に抑えて酵母の負荷を減らし、軽快な口あたりを目指す一方、米麴の使用量を増やしてしっかりと旨味を出すよう仕上げたフルボディータイプの軽やかな純米原酒です。透明感があり、飲みごたえも感じさせるお酒です。

原料米：美山錦(長野県産) / 仕込水：木曽川源流水
精米歩合：70% / 酵母：きょうかいKT-901号
アルコール分：14度 / 日本酒度：±0 / 酸度：2.0
アミノ酸度：1.6 / 杜氏：湯川慎一(諏訪杜氏)

第三回
8月

純米吟醸酒 (瓶貯蔵)
多満自慢 (瓶貯蔵) 純米吟醸酒
たまじまん
東京都福生市熊川

《お酒の特長》
近年評価が高まる北海道産の酒造好適米を大吟醸規格の精米歩合50%まで磨きました。また、近年再評価される「きょうかい1501号酵母」で醸しました。上品な果実香、爽快感と甘みのバランスを、いきいきと感じられるフレッシュな純米吟醸酒です。

原料米：ななつぼし(北海道産)・吟風(北海道産)
仕込水：上総層群東久留米層の伏流水 / 精米歩合：50%
酵母：きょうかい1501号 / アルコール分：15度 / 日本酒度：未定
酸度：未定 / アミノ酸度：未定 / 杜氏：前迫晃一(南部杜氏)



お申し込み書 ※ご注文のコースの□マスに申に印を付けてください。

期間：2020年6月～2020年8月 締め切り日：2020年5月24日(日)

☐ 720mlコース (毎回2銘柄) 本体小売価格3,364円(税込み3,700円)×3回	口数
☐ 1.8Lコース (毎回1銘柄) 本体小売価格3,364円(税込み3,700円)×3回	口数

ふりがな
お名前

電話番号

ご住所 〒

お申し込みのご案内

【お申し込み方法】
上記の所定事項をご記入の上、日本名門酒会加盟店にご注文ください。
※最寄りの加盟店がわからない場合は、下記の日本名門酒会本部までお問合せください。

【お支払い＆お届け方法】
お申し込みになった日本名門酒会加盟店の酒販店にご相談ください。

【出荷予定日】
頒布会の出荷予定日は、毎月中旬以降を予定しています。
※7月、8月はオリンピックによる交通規制のため、一部地域ではお届けが遅れることがあります。

【お願い】
●お申し込みの期間内でも限定数に達し次第、締め切らせて頂くことがあります。●途中での解約は申し受けかねますので、ご了承ください。●都合により商品の意匠等が一部変更になる場合があります。●表記されている原料米や分析値は、酒質設計段階でのものですので、都合により変更される場合がございます。●事故など不測の事態があった場合、お届けが遅れる場合がございます。

お問い合わせ：「日本名門酒会加盟店」または「日本名門酒会本部」
〒103-8380 東京都中央区日本橋馬喰町1-7-3 TEL 03-3663-0330(代表)
日本名門酒会公式サイト <https://www.meimonshu.jp/>

※ お申し込みは、下記の日本名門酒会加盟店まで。

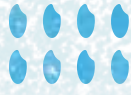
日本名門酒会加盟店



TOPIC

暑い夏こそ、日本の酒を。

蔵元紹介



日本酒造りはサイエンス

皆さんは日本酒をどのように思われているでしょうか？

伝統的な日本のお酒？古めかしいお酒？

あまり飲む機会がないお酒？

日本の酒造りは、二千年の歴史を刻むといわれます。ワインやビールほどではありませんが、世界的に見ても長い歴史を持つお酒のひとつといえます。米を主食にする日本人が、温暖で湿潤で四季の移ろいが明確な気候、一年を通じて豊かな水資源という日本特有の風土を利用して、徐々に形づくってきたのが日本酒です。歴史上、日本の酒造りは数多くのイノベーションを経て現代に至っていますが、特に近年は、麹菌や酵母菌の特性や働き、さらにこれらの微生物がつくり出す様々な成分、そしてそのメカニズムなども解明され、いままで存在しなかったような多様なタイプの日本酒が誕生しています。

いまや日本酒は、和食と共に、海外でも高い評価を受けています。例えば、ローマ時代からの文化を有するヨーロッパでも、人気が高まり、近年では現地の人々によっても清酒(日本酒とはいいません)が造られ始めています。

「革新し続けるものだけが伝統となる」という言葉は日本酒のためにある言葉のような気がします。少し前の時代まで、夏はビール、冬は熱燗の日本酒というのが定番でしたが、現在では夏向きの日本酒も開発されています。

今回の頒布会では、ますます暑くなる日本の夏を涼しく過ごしていただくために、蔵元たちが独自のアプローチでチャレンジした様々な味わいの日本酒をお届けします。

如空

青森県三戸郡五戸町
八戸酒類株式会社 五戸工場

木曾路

長野県木曽郡木祖村藪原
株式会社湯川酒造店

菊秀

長野県佐久市白田
橘倉酒造株式会社

玉乃光

京都府京都市伏見区東堺町
玉乃光酒造株式会社

多満自慢

東京都福生市熊川
石川酒造株式会社

若戎

三重県伊賀市阿保
若戎酒造株式会社

JYOKU

如空

じょくう

青森県



八戸酒類株式会社 五戸工場

〒039-1554 青森県三戸郡五戸町字川原町12
TEL:0178-43-0010 創業:天明2年/1786年(江戸中期)

青森県は、東半分を南部地方といい、西半分を津軽地方といいます。藩政時代、南部地方は、現在の岩手県盛岡市を拠点にした南部氏の領地であり、西半分は津軽氏の領地であったため、言葉も気質も違うといわれます。旧・南部領内には、三戸や八戸などの地名がありますが、その由来は、名馬・南部馬を産した9つの牧場に由来するともいわれています。『如空』の蔵がある五戸町もそのひとつ。町の半分以上を森林が占め、坂道が多いため、町内には坂の名前を書いた標柱が16も立っています。



天満宮へ上る石段「堀合坂」からの眺め

KISOJI

木曾路

きそじ

長野県



江戸期の幹線道路・五街道のひとつ、中山道は江戸と京を結ぶ街道でした。同じく江戸と京を結び海沿いを通る東海道が53の宿場があったのに対し、内陸を通る中山道には69の宿場がありました。その道中で、最も険しい山道が続くのが木曾路です。そのため、中山道は木曾街道とも呼ばれました。木曾路のなかで、妻籠宿、馬籠宿と共に、今も江戸期の面影を残す奈良井宿と次の藪原宿の間には、道中で最も標高の高い鳥居峠(1,197m)があります。この峠を下ると、静かな数原の宿場に至ります。



女性に人気の「お六櫛」のお店

株式会社湯川酒造店

〒399-6201
長野県木曽郡
木祖村藪原1003-1
TEL:0264-36-2030
創業:慶安3年/1650年(江戸初期)

TAMANOHIKARI

玉乃光

たまのひかり

京都府



室町時代、現在の京都市の中心部には三百を超える蔵元がありましたが、京都が戦場となった応仁の乱で、その多くが失われ、一部の蔵元は伏見に逃れました。鴨川、桂川、宇治川、木津川が合流し、淀川となる伏見に、太閤秀吉が城を築くと、伏見は城下町、宿場町、淀川水運の物流拠点として発展。豊かな水、底冷えのする京の冬、物流の利が伏見を全国屈指の酒どころに育てました。伏見でも蔵元が薨を競う辺りを流れる濠川は、伏見城の濠の一部としてつくられ、伏見の酒も船で出荷されました。



酒蔵を眺めながらの濠川クルーズ

玉乃光酒造株式会社

〒612-8066
京都市伏見区東堺町545-2
TEL:075-611-5000
創業:延宝元年/1673年(江戸前期)

KIKUhide

菊秀

きくひで

長野県



長野県東部の佐久市は、標高約700m。浅間山、ハケ岳を仰ぐ高原の街です。佐久市の南部。『菊秀』の蔵元がある臼田地区(旧・臼田町)は、「海から一番遠い街」として知られていました。標高の高い寒冷な気候を利用した高原野菜や、無農薬栽培、減農薬栽培の稲作も盛んです。また、大気が澄んでいることからJAXAの臼田宇宙空間観測所もあり、佐久市は「星の町」をキャッチフレーズに、天体望遠鏡のある「うすだスタードーム」や子供未来館のプラネタリウムなども人気です。



臼田宇宙空間観測所の電波望遠鏡

橘倉酒造株式会社

〒384-0301
長野県佐久市臼田653-2
TEL:0267-82-2006
創業:元禄年間/1690年代(江戸中期)



WAKAEBISU

若戎

わかえびす

三重県



若戎酒造株式会社

〒518-0226 三重県伊賀市阿保1317
TEL:0595-52-1153 創業:嘉永6年/1853年(幕末)



TAMAJIMAN

多満自慢

たまじまん

東京都



東京の西部、米軍の横田基地があり、アメリカンな雰囲気醸す福生市。その前身である福生町は、福生村と熊川村が合併して誕生しました。この辺は、多摩川の河岸段丘の上に位置するため、水利が悪く、慢性的な水不足でした。江戸期、村人たちは、たびたび多摩川の水を江戸市中に送るための玉川上水の分流の建設を幕府に嘆願していましたが、願いはかないませんでした。明治になって、この長年の住民の願いを実現させたのは、熊川村の名主だった『多満自慢』の当主14代石川彌八郎氏でした。



麴造りの風景

石川酒造株式会社

〒197-8623
東京都福生市熊川1番地
TEL:042-553-0100
創業:文久3年/1863年(幕末)



宿場の辻に立つ常夜燈